

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 4 月 7 日 (2016.4.7)

【公表番号】特表 2015-510596 (P2015-510596A)
 【公表日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-023
 【出願番号】特願 2014-558241 (P2014-558241)
 【国際特許分類】

G 0 1 K 11/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 K 11/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 19 日 (2016.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 方向に沿った第 1 端部、第 2 方向に沿った第 2 端部、および前記第 1 端部を前記第 2 端部に接続する中央湾曲部分を有する糸状形状記憶部品を含む少なくとも 1 つの感温システムを含み、

第 1 部分は第 1 接触部品に固定して取り付けられた末端部を有し、第 2 部分は第 2 接触部品によって継続的ではない方法で拘束された末端部を有する感温ラベルであって、

ラベルによって監視される臨界しきい値温度よりも高い同じ温度で、前記中央湾曲部分がマルテンサイト相であり、一方で第 1 部分および第 2 部分はオーステナイト相であり、中央湾曲部分が第 1 の温度挙動を有し、第 1 部分および前記第 2 部分は各々、中央湾曲部分の第 1 の温度挙動とは異なる第 2 の温度挙動を有することを特徴とする感温ラベル。

【請求項 2】

第 1 方向と第 2 方向との間の角度が 130°よりも小さい、請求項 1 に記載の感温ラベル。

【請求項 3】

前記糸状形状記憶部品が 1 から 100 mm の間の、好ましくは 2 から 50 mm の間の長さを有する、請求項 1 に記載の感温ラベル。

【請求項 4】

前記糸状形状記憶部品が 15 から 1000 μm の間の直径を有する、請求項 1 に記載の感温ラベル。

【請求項 5】

糸状形状記憶部品の中央湾曲部分の長さが、全体の長さに対して 1 から 40% の間、好ましくは 1 から 30% の間である、請求項 1 に記載の感温ラベル。

【請求項 6】

感温システムの状態を表示するように適合された、少なくとも光学フラグまたは透明窓をさらに含む、請求項 1 に記載の感温ラベル。

【請求項 7】

接触部品とラベルの縁との間に延びる電気接続をさらに含む、請求項 1 に記載の感温ラベル。

【請求項 8】

電気接続が R F I D 監視において使用されるのに適する回路に一体化される、請求項 7 に記載の感温ラベル。

【請求項 9】

2 つ以上の感温システムを含み、各々の 1 つがオーステナイト相とマルテンサイト相との間の異なる転移温度を有する糸状形状記憶部品を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の感温ラベル。